

第4章

駅前広場

第4章 駅前広場

4-1 駅前広場の計画

4-1-1 検討状況

駅前広場は、鉄道とバスの乗り継ぎや自家用車による送迎などがスムーズになり、また、駅周辺がまちの顔として新しく生まれ変わるなど、魅力的でにぎわいのある街づくりに大きく寄与するものです。

おりお未来21協議会や学識経験者、障害者福祉団体、警察、交通事業者などの意見を伺いながら、令和元年10月に駅前広場の計画をまとめました。

折尾駅駅前広場は、事業開始前、駅南側（東口）に1か所あり、バス、タクシー、一般車が混在し大変混雑していました。

平成24年度から、鉄道高架化工事のため、駅北側に暫定駅前広場を整備し、バス乗場を仮移転させています。



折尾駅 旧バス停（平成24年）



折尾駅周辺 現在のバス停（令和7年）

4-1-2 計画概要

(1) 規模

- ・北側9,800㎡、南側8,020㎡、合計約18,000㎡

(2) 基本方針

- ・「交通機能」と「交流・シンボル機能」の二つの機能を持った駅前広場とする。

(3) 交通機能の配置方針

- 地域の交通実態に即した、利用しやすい駅前広場とする。

- ・バスは南側に集約し、分かりやすくする。
- ・北側は一般車とタクシーが利用するものとし、送迎しやすい駅前広場とする。

【期待される効果】

- ・交通量の多い交差点でのバスの右左折が減り、定時性、速達性が確保される。
- ・北側～学園大通り間の歩行者の安全性、快適性が高まる。
- ・折尾中間線など周辺道路への送迎車両の路上駐車を抑制できる。
- ・南側利用者が増え、南側周辺への民間投資が進み、活性化につながる。

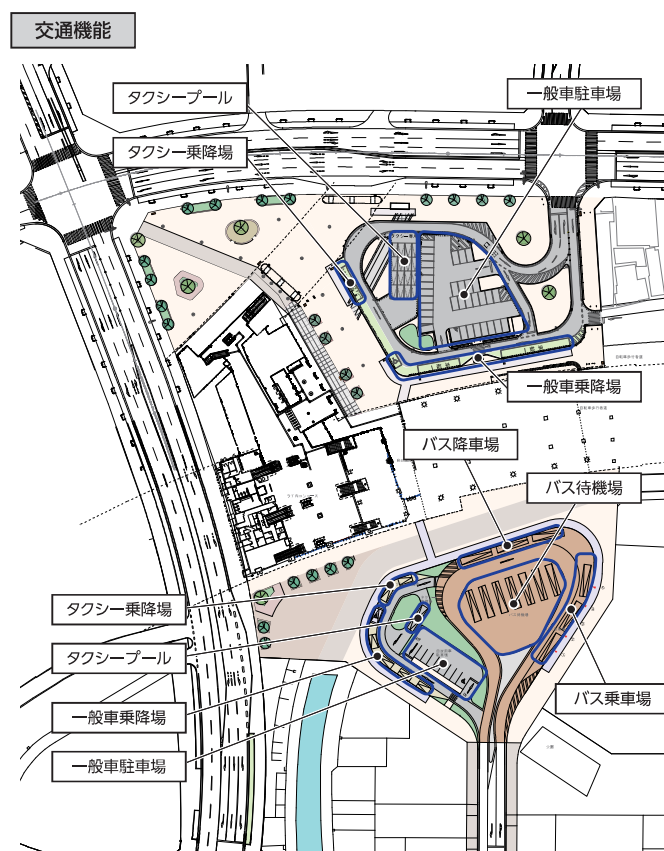
(4) 交流・シンボル機能の配置方針

- 新しい市街地の発展に寄与する広場とする。

- ・イベントを通じたまちの活性化
- ・学生や近隣住民が憩える場の提供
- ・「学園都市」の名にふさわしい、豊かな景観形成によるまちのイメージ向上

【期待される効果】

- ・駅前広場を核として、まちの価値を高めていく。



※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。

折尾駅駅前広場 交通機能

4-2 施設の概要

折尾駅の駅前広場は、北側と南側にそれぞれ設ける計画であり、いずれも「交通機能」と「交流・シンボル機能」の2つの機能を持たせることを基本方針としています。

「交通機能」としては、既に完成している北側駅前広場には、タクシーと一般車の乗降場やタクシープール、一般車駐車場を整備しており、南側駅前広場には北側駅前広場と同様の機能に加え、バスの降車場や待機場も整備する予定です。

「交流・シンボル機能」としては、北側に北側駅前広場を整備しました。地域のイベントなどに活用されるとき、日常的に多くの学生などがベンチに座って談笑している姿なども見られます。また、南側にも南側駅前広場を整備する予定です。ベンチ機能を有するイベントステージもあわせて設置する計画です。



折尾駅北側駅前広場



※このイメージは一部変更の可能性あり

折尾駅南側駅前広場 イメージ